

北方領土の島々 ~自然とかつての暮らし~

●北方領土の大きさを調べよう

島名	面積(km ²)
歯舞群島	95※
色丹島	249
国後島	1,489
択捉島	3,167
計	5,003※

自分の住んでいる市町村の面積はどれくらい？

市町村名

面積

km²

1,209km²→何島かな？

島名

国後島はこの島よりちょっと広いよ。

←4,987km²何県かな？

県名

北方領土全体だとこの県の面積に近いわ。

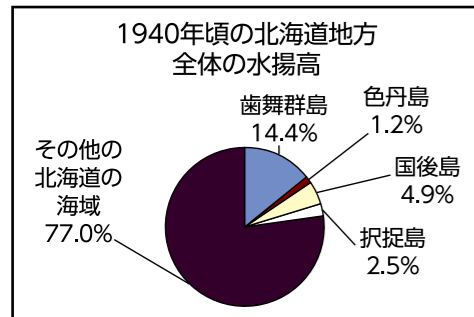
注)「国土地理院(R2.10.1 現在、小数点以下四捨五入)」
注)※印の面積には周辺の小さな島の面積を含んでいます。

●北方領土で盛んな水産業を調べよう



色丹島斜古丹湾の漁船(撮影:1933年(昭和8年))

周辺の海は魚介類が豊富なんです。北海道全体の中で北方領土の水揚げはどれくらいあったのかな？



志発島のかんづめ工場(撮影年不明)



この海域は豊かな親潮のおかげで、水産資源が豊富なんだよ。歯舞群島のコンブをはじめ、サンマ・サケ・マス・ニシン・タラなどの魚類や、毛ガニ・タラバガニ・ズワイガニ・花咲ガニ・エビ等の甲殻類、ホタテ貝やホッキ貝などの貝類も捕れたんだ。

豊富な水産資源を原料にした食品加工もさかんだったのですね。

●北方領土でのかつての暮らしを調べよう



色丹島の運動会(撮影:1939年(昭和14年))

昔は学校などを会場にした巡回映画や、学芸会・運動会などが喜ばれました。年に一度のお祭りは、村中をあげて、大変にぎやかに行われましたよ。また、夏は川や海で釣りをしたり、木の実・草の実を採り、ジャムにしたり、おやつがわりに食べたりしました。冬は吹雪の日が多く、流氷の時期には航海ができなくなることがありました。そのため生活に必要な物が運ばれず少なくなったり、新聞や郵便物が途絶えたりしたことがしばしばありました。

運動会やお祭りなど、今と変わらないところもあるのですね。

冬は寒さが厳しそうだけど、自然はとても豊かだったのですね。

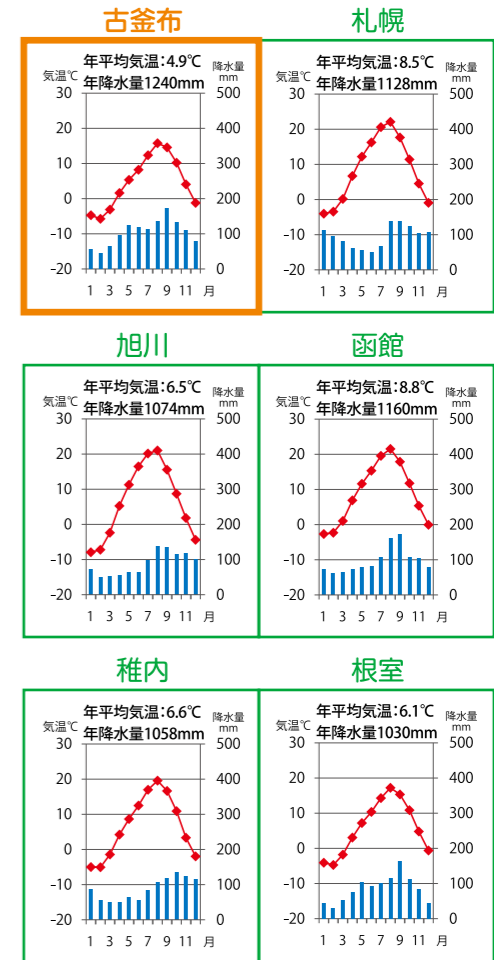
国後神社の祭礼(1939年(昭和14年))



各島の人口は1945年当時住んでいた人口。
※1945年(昭和20年)8月15日現在 17,291人



●北方領土の気候を調べよう



同じ北海道でも場所によってかなり違うね。



本当だ。古釜布の気候は、どの都市に似ているのかしら。

~古釜布はどんな気候だろう~